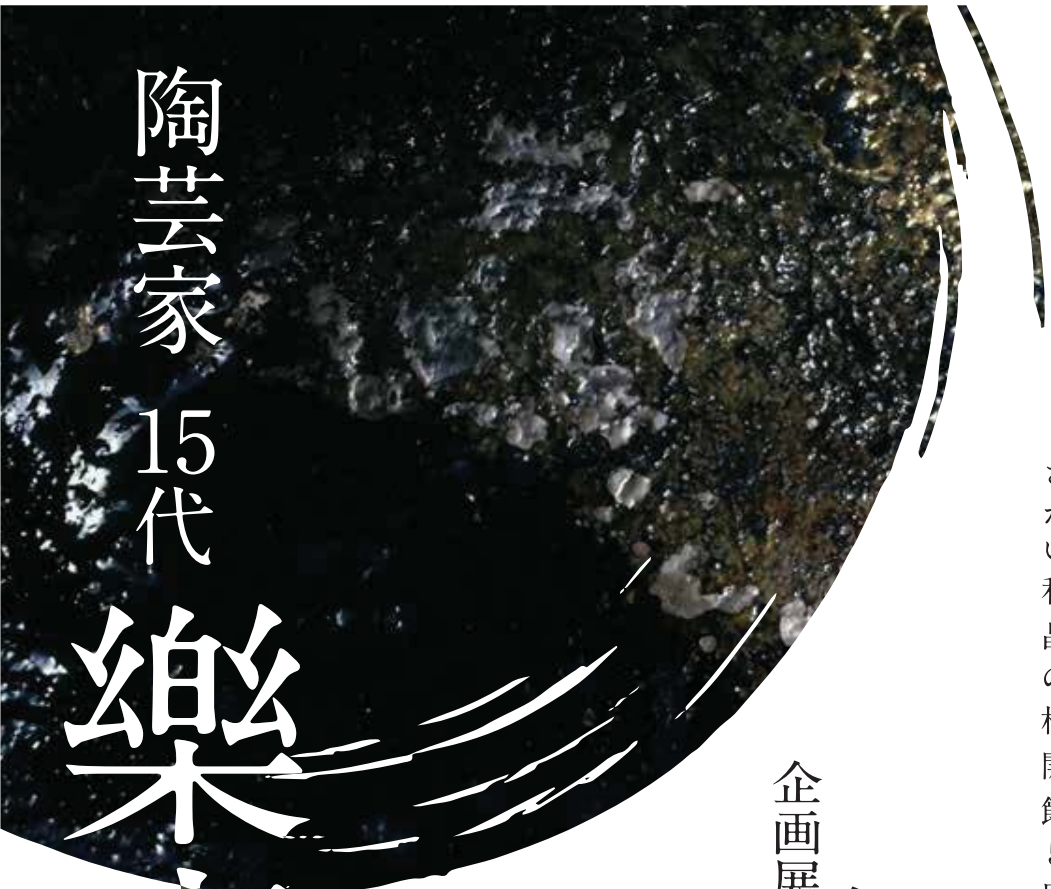
茶碗を焼く。
宇宙を開く。



陶芸家
15代
樂直入

らく じきにゅう

さかい利晶の杜開館5周年記念

企画展
千年の宇宙

手のひらの中の宇宙
宇宙の中の人類

宇宙飛行士
土井隆雄

どい たかお

NASA/JPL-Caltech/STScI

令和2年
2月22日（土）— 3月22日（日）

会　場：さかい利晶の杜 企画展示室
休館日：3月17日（火）
時　間：午前9時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
観覧料：一般 300円 高校生 200円 中学生以下 100円
「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。
協　力：公益財団法人樂美術館
京都大学宇宙総合学研究ユニット
大阪府立三国丘高等学校

SAKAI RISHO NO MORI
さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

特別対談開催　先着200名様（予約制）

日時：令和2年3月20日（金・祝）　午後1時30分～午後3時
会場：ホテル・アゴーラ リージェンシー大阪堺

SAKAI RISHO NO MORI 5th Anniversary 2015~2020

さかい利晶の杜開館5周年記念

企画展

千年の宇宙

手のひらの中の宇宙
宇宙の中の人類

千年の都京都で、450年にわたり茶碗づくりを
専業とする樂家の15代直入。
京都大学で有人宇宙学を教授し、
これからの宇宙開拓を担う人材を育成する
土井隆雄宇宙飛行士。
茶碗と宇宙開拓の世界が、さかい利晶の杜で出会います。
窯場で一碗ごとに焼き上げる黒樂茶碗には、
自然の力と人間の意志が融合した表情があらわれます。
月面基地をはじめ、火星有人探査や
将来の惑星探査に向けた環境、文明、社会科学などの
人類総合の取組みの一歩を紹介します。

焼貫黒樂茶碗 銘 砕動風鬼（さいどうふうき） 1990年
高さ9.1 口径15.4-10.8㎝　樂美術館 蔵

激しさの中にあえて身を置き、己を見つめた。長次郎とは真反対の方向、装飾の彼方へ投げ出す。形は鬼なれども、心は人なる風体。世阿弥の「二曲三体人形図」から、その時の心情を銘に託して「砕動風鬼」と名付けたという。焼貫の技法で、しかも樂茶碗において初となる金彩、銀彩により装飾された一碗。

焼貫黒樂茶碗 銘 吹馬（すいば） 1993年
高さ11.0 口径13.2-10.8㎝　樂美術館 蔵

残照の中、まるで幽玄のかなたに走りゆく黒馬のように、この茶碗は、生まれて遠く長次郎から現代までを縦横無尽に走り抜けてゆく。強くもあり、弱くもある。あるいは、弱さも強さ、強さも弱さというのだろうか。激しい篦跡、斬新な釉がけに、焼貫の炎が陶土を焼く。李賀の詩「神絃曲」より銘されている。

ジェット飛行訓練用ヘルメット

1997年11月20日打上のスペースシャトル「コロンビア号」に搭乗し、国際宇宙ステーションのミッションスペシャリストとして参加した土井隆雄が、搭乗前の各種訓練の一環として、ジェット飛行訓練で使用したヘルメット。年間50時間の飛行で、操縦、ナビゲーション、通信、観測などのマルチタスク訓練を積む。昼夜の飛行訓練では、4万5千フィート上空の雲上から星々も観測。

国際宇宙ステーションで活用したクルーノートブック

1997年スペースシャトル「コロンビア号」搭乗でのミッション、2008年「エンデバー号」搭乗でのミッションを通じて、実際に使われた国際宇宙ステーションでの活動日誌。STS-87では2回の船外活動、微小重力実験、地球観測などの船内活動、STS-123では有人宇宙施設「きぼう」の船内保管室を国際宇宙ステーションに設置などの活動を記載。

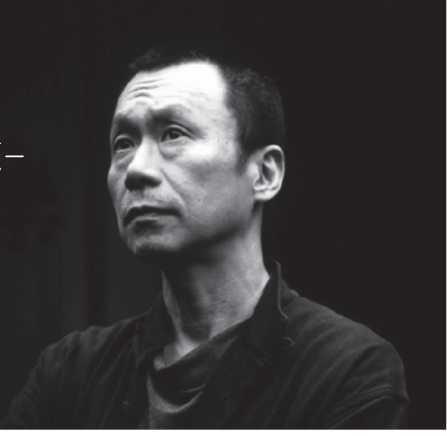
SPECIAL TALK

特別対談

千年の宇宙 −手のひらの中の宇宙 宇宙の中の人類−

日時：令和2年3月20日（金・祝） 午後1時30分〜午後3時
会場：ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺（堺市堺区戎島町4-45-1）
参加費：2,000円（展示観覧料、立礼呈茶含む）　定員：200名（先着順）
お名前（ふりがな）・電話番号・FAX・メールアドレスを
ご記入の上、HP・FAX・メールからお申込ください。

令和2年1月20日（月）午前9時より受付開始



土井隆雄　宇宙飛行士 京都大学宇宙総合学研究ユニット特定教授

東京生まれ。大阪府立三国丘高等学校卒。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。ライス大学大学院博士課程修了。工学・理学博士。1997年スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗、日本人初の船外活動。2008年スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗。ロボットアームを操作し日本初の有人宇宙施設「きぼう」日本実験棟船内保管室を国際宇宙ステーションに設置。2009年から5カ年国連宇宙部で国連宇宙応用専門官。2016年4月より現職。2002年と2007年に超新星を発見。

陶芸家 樂美術館 館長 15代 樂 直入

樂家14代・覚入の長男として京都市に生まれる。東京芸術大学彫刻科卒業。イタリア・ローマアカデミアに留学後、1981年15代吉左衛門を襲名。2019年6月、直入に改名。樂美術館（京都市）館長。佐川美術館樂吉左衛門館（滋賀県守山市）では現在進行形の作品を展覧。450年の歴史と伝統を継ぎ、伝統に根ざしながらも安住することなく、常に斬新な造形美の世界を表現し続けている。

企画展開催期間中、展示観覧（常設展+企画展）と立礼呈茶（抹茶と和菓子）が楽しめる「企画展特別観覧券」をさかい利晶の杜にて販売いたします。●料金 640円（通常800円）

SAKAI RISHO NO MORI
さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko
〒590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1
TEL.072-260-4386 FAX.072-260-4725
http://www.sakai-rishonomori.com
event@sakai-rishonomori.com
さかい利晶の杜　検索